

# 石岡の自然と食を感じよう

6班

We loveIshioka nature!!



# 石岡の良い所・悪いところ

自然が多い

林業総収入が多い

ご飯の美味しい  
お店が多い

害獣被害が多い

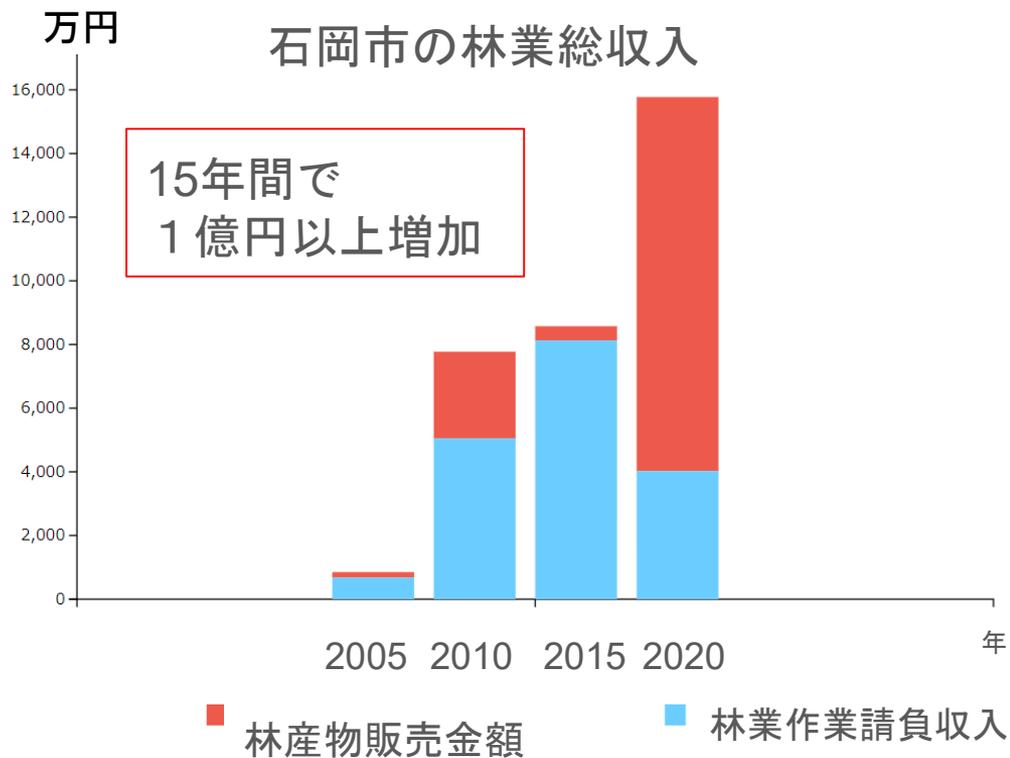
耕地面積が大幅に減  
っている

遊びに行く場所が  
少ない

# 良いところ

林業総収入が多い

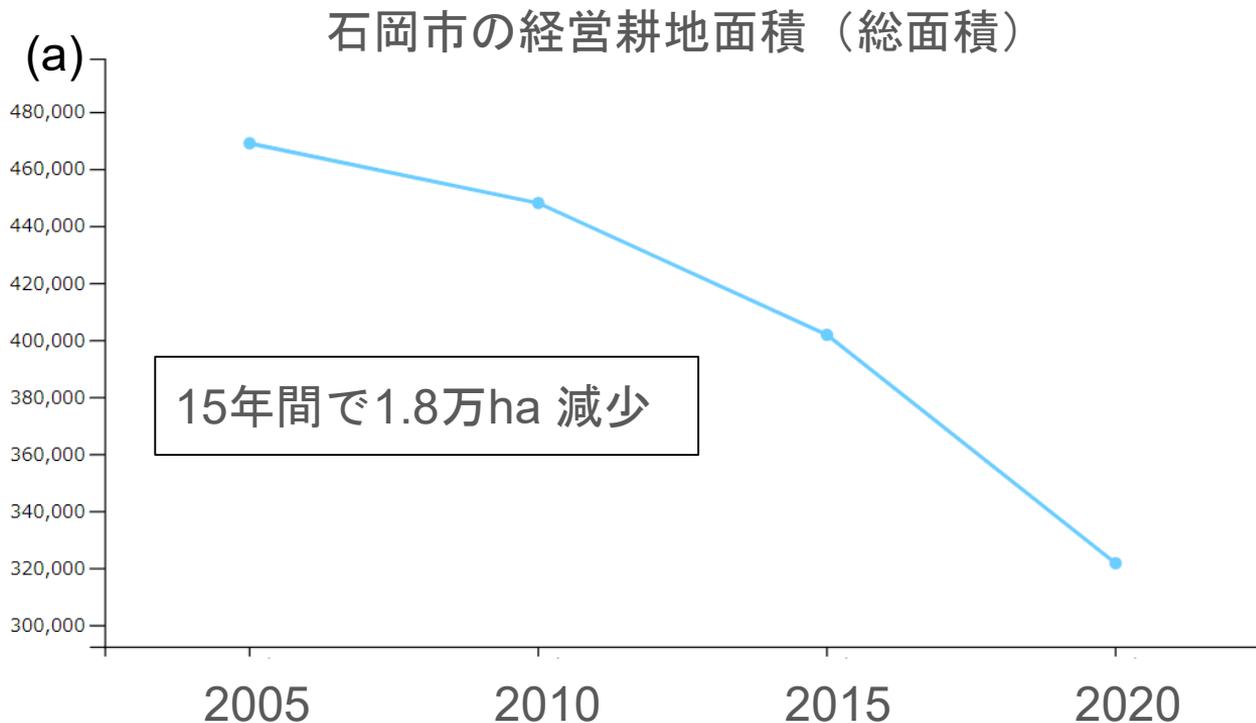
石岡で採れた木を  
よりたくさん使って欲しい！



# 悪いところ

耕地面積が  
大幅に減っている

石岡市の耕地面積が減少しているのは、後継者不足が原因だと考えられる。



# ヒアリング

人口創出課：古屋敷様

農政課：山本様

地域おこし協力隊：佐川様



木材は外国産の安いものが使われがち

耕作面積の減少は  
鳥獣被害が一因

現状を知ってもらい、もっと活用していきたい！！

# 現在行われている取り組み

(石岡市モニターツアー実施内容について)

- 実施内容:①モニターツアー及び参加者アンケートの実施(大学ゼミの誘致を想定)  
②ツアーの検証、アンケート調査の集計・分析等

◆ツアー内容

対象者:大学教員・学生 20名(麗澤大学様5名、茨城大学様15名の想定)

実施日:令和6年9月25日(水)・26日(木)

宿泊地:花やさと山(石岡市下青柳200番地)

※サークルロッジまたはジプレーベルテントにご宿泊いただきます

日程:1泊2日(具体的な行程については別紙の行程表をご参照ください)

交通:観光バス

発着場所:茨城大学水戸キャンパスまたは JR 石岡駅

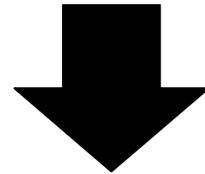
参加費:無料 ※バス発着場所までの交通費および個人的な買い物は個人負担となります

プログラム:チームビルディングを目的とした体験型模擬研修(SDGs(森林の活用)に関するテーマ)、

参加者アンケート、意見交換会

～大学生向けの林業体験～

宿泊を通しての体験や  
SDGs、ブッシュクラフトの  
活用を試みている



もっと気軽に！！

# イベント① 自然とのつながり

## 石岡市の木を使った工作教室

石岡市の木を使って棚や本棚、  
箸などを作る。

アトリエ・工作室で親子などに  
地域の有識者が工作を教える。



# ペルソナ① ～他人目線の想定～



## 3人家族（夫婦＋子供1人）

夫婦は子どもができたことをきっかけに石岡市に移住してきた。自然豊かなところで子育てをしたい。

Q.なぜこの教室に参加したのですか？

A.家族共同作業で思い出のある物を作りたかったからです。

Q.何を作りましたか？

A.机を作りました。家族で食事の際に使いたいです。



## ペルソナ② ～現在の自分～



高校2年生 趣味は読書

夏休み、高校の友達3人と工作教室に参加

Q.なぜ参加したのですか？

A.自分なりの本棚がほしかったからです。

Q.参加してみてどうでしたか？

A.友達と協力しながら、楽しくできました。温かみのあるものが作れました。

## イベント② 自然と食のつながり

### 農業体験・石岡市で取れた食材を使った料理の提供

体験教室で石岡市の農家を呼び、

現状や農作物の育て方を教室に来た親子に伝える。

鳥獣への適切な対処も学べる。

飲食店と連携することで、  
地元食材を市内外の人に味わってもらうことも  
可能になる



## ペルソナ③ ～将来の自分～



70歳男性 石岡市在住 農家 妻と二人暮らし

小さいころから両親がやっている畑仕事を手伝う。

工作好き。その畑を継いで、今まで赤ねぎを育ててきた。

**Q.**なぜ農業を教えようと思ったのですか？

**A.**体力的に農作業が厳しくなり、若い世代に興味を持ってもらいたいと思ったからです。

# まとめ

農業体験

工作教室

世代をまたぎ、気軽に自然や食に触れ、  
学ぶことのできる「体験の場」

石岡への愛着UP！！



**ご清聴ありがとうございました**